

弘前の社会教育

平成 29 年度事業計画

- 1 弘前市教育振興基本計画と平成 29 年度事業・・・・・・・・・・ 1～3p
- 2 平成 29 年度社会教育関係主要事業及び指定事業・・・・・・・・ 4～9p
- 3 社会教育行政機構・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10p
- 4 社会教育関係施設等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11～12p

【記載内容について】

- 1 弘前市教育振興基本計画は、関係部分を抜粋して記載しています。
- 2 事業等は、教育委員会社会教育関係部署（生涯学習課※図書館・郷土文学館運営推進室含む、博物館）が主管するもの、及び弘前図書館・岩木図書館・こども絵本の森の指定事業を記載しています。
- 3 社会教育のうち「体育」に関するものは、市民文化スポーツ部文化スポーツ振興課が主管しているので、記載を省略しています。

1 弘前市教育振興基本計画と平成29年度事業

弘前市が目指す教育

「より新しい自分をつくる（創る）」教育

「これまでと今、そしてこれからをつなぐ（繋ぐ）」教育

「心と心をつむぐ（紡ぐ）」教育

施策の基本方向Ⅰ 社会を生き抜き、未来をつくる弘前っ子の育成

弘前市の子どもたちが個性豊かに、自立して社会で生きるための力の源となる豊かな心と健やかな体を育成するとともに、基礎的・基本的な知識・技能の習得とそれらを活用するために必要な思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力及び主体的に学習する意欲や望ましい学習習慣の育成を図ることにより、確かな学力の定着と向上を目指します。

また、国際化や情報化の発展といった大きな社会変化に対応できる人材の育成、地域全体で子どもを育てる仕組みづくり、豊かな情操を育むための事業の展開を図ります。

目標3 夢を抱き未来をひらく青少年の育成

心身ともに健全な青少年の成長を願い、地域ぐるみで子どもを守り育てる仕組みづくりを推進・支援するとともに、多くの人との関わりや様々な体験活動等を通して、他人を思いやる心や感動する心、様々な問題に積極的に対応し解決する力やコミュニケーション能力を高めるなど、「生きる力」を育むための事業の充実に努めます。

施策1 生きる力を育む地域活動の支援

学校・家庭・地域が連携して、子どもが社会の中で積極的に生きる自覚を高める仕組みを形成するために、地域において青少年を育成するための取組や各種団体の活動を支援し、子どもたちが地域に見守られていることが実感できるよう、また、地域住民にとっても子どもたちを育てていることが見える取組を進めます。

平成29年度事業

子ども会活動推進事業（中公）・弘前市子どもの祭典（実行委員会）支援事業（中公）・弘前市少年教育指導員派遣事業（生学）・弘前市ガールスカウト弘前地区委員会事業費補助金（生学）・弘前市相馬子ども会育成協議会事業費補助金（生学）・弘前市子どもの祭典共催負担金（生学）・新春子ども会親切カルタ大会運営支援（中公）

施策2 豊かな情操と夢を育む事業の展開

子どもたちが様々なものや事柄に素直に感動できる豊かな情操と、伸びやかな創造性、なりたい自分に近付くためのチャレンジ精神を育みます。このために、基礎となる「考える力」、「感じる力」、「表現する力」等を育てる様々な芸術に触れる取組や読書活動を推進するとともに、自然体験や異年齢集団での交流活動など魅力ある事業を展開し、子どもたちが自分の未来を設計できる人として成長するよう支援します。

演劇ワークショップ事業(生学)・アーティスト体験ワークショップ(生学)・児童劇観劇教室(生学)・中学生×医師交流プログラム(生学)・子どもクラブ事業(中公)・ウィークエンド子どもクラブ事業(中公)・少年教育事業(地区公)・弘前市・太田市青少年交流事業(中公)・キッズ☆ワールド運営支援(中公)・ブックスタート事業(図書館等)・子どもの読書活動推進関係事業(図書館等)

施策の基本方向Ⅱ 学びと育ちの環境の充実

学校、家庭、地域及び関係機関が連携し、子どもたちが温かく見守られながら意欲をもって学習できる環境を整えます。

目標 1 連携・協働による学びの保障

子どもたちが安心して生き生きと学ぶことができる学びの環境づくりのために、学校が家庭・地域と連携し、地域の資源を活用しながら、主体的で創造的な教育活動を展開できるよう支援します。

施策 1 学校・家庭・地域が共に支える環境づくり

「義務教育 9 年間を貫く“学びと育ち”の環境づくり」と「地域とともにある学校の実現」を効果的に達成するため、学校・家庭・地域が連携・協働した取組を更に充実させます。

放課後子ども教室事業(生学)・伝統文化学習講座(中公岩)

施策の基本方向Ⅲ 学び合い支え合う生涯学習活動の推進

生涯学習活動が多様化・高度化する中で、より高いレベルの学習機会を求める市民の学習意欲に応えることが期待されています。このために必要な生涯学習推進体制や社会教育施設の整備、さらには学習機会の提供等社会教育行政が主体となっていく施策とともに、市民が自ら行う学習活動や社会貢献活動を支援し、社会教育関係団体・機関との連携を進めるなど、市民の生涯学習環境を整えます。

目標 1 生涯学習の基盤整備と充実

多様化・高度化する学習活動を支援するため、関係機関や関係団体等と連携しながら、市民の温かい交流と学習の輪が広がる生涯学習社会の実現に向けた推進体制の整備に努めます。

また、公民館、図書館、博物館などの社会教育施設の老朽化等に対する計画的・効率的な整備を行うとともに、各施設の有効活用を図りながら市民が利用しやすい管理運営に努めます。

施策 1 生涯学習推進体制の充実

生涯学習活動を支える社会教育関係職員のスキルを高め、市民の学習活動を支援することが社会教育行政に求められています。このことから、社会教育関係職員の研修を充実するとともに、国・県の社会教育政策の動向を把握して市の社会教育を推進します。

また、市民の生涯学習活動を支える社会教育関係団体等と連携するとともに財政的に支援し、市民が共に高め合う社会環境づくりを進めます。

さらに、小・中学校の文化活動を支援し、子どもたちの芸術文化活動を充実させ、こうした活動を通じて生涯学び続けるために必要な基礎力を育てます。

平成 29 年度事業

社会教育関係職員等研修事業（生学）・弘前市連合婦人会事業費補助金（生学）・弘前市連合父母と教師の会事業費補助金（生学）・弘前市学校管理下外親子安全保険事業費補助金（生学）・弘前市化学への招待事業費補助金（生学）・弘前地区小学校文化連盟事業費補助金（生学）・弘前市中学校文化連盟事業費補助金（生学）・小・中学校文化連盟大会派遣事業費補助金（生学）

施策 2 社会教育施設等の整備と効果的な運営

様々な場所・ステージで展開される市民の生涯学習活動に必要な社会教育施設を、より快適で安全なものに改善し、利便性を高めるとともに、管理運営を効率的・効果的にを行います。

平成 29 年度事業

弘前市総合学習センター管理運営事業（生学）・農村環境改善センター管理事業・中央公民館岩木館管理運営事業（中公岩）・中央公民館相馬館管理運営事業（中公相）・博物館管理運営事業（博物）・博物館常設展リニューアル事業（博物）・農村環境改善センター施設整備事業（生学）・弘前市総合学習センター施設整備事業（生学）・中央公民館岩木館整備事業（中公岩）・相馬ふれあい館管理運営事業（中公相）・鳴海要記念陶房館管理運営事業（博物）・公民館施設整備事業（中公）・図書館及び郷土文学館運営事業（図書館等）・追手門広場維持管理事業（図書館等）・古文書デジタル化推進事業（図書館等）

目標 2 学習機会の充実とコミュニティづくりの推進

社会教育は、今ある社会をより良く次世代に伝えていく営みであると言われています。

市民が生涯にわたって自ら学習できるように多様な学習機会を提供するとともに、その学習成果を地域づくりやボランティアなどの社会参加活動で生かせるような環境づくりに努めます。

施策 1 生涯学習社会を目指す多様な学習機会の創出と提供

生涯にわたって自己を磨き高めようとする市民の学習ニーズに応えるため、多様な学習機会と充実した学習情報の提供に努めます。

地域に根ざした教育活動は、先人たちが築いてきた伝統や文化を次の世代に伝え、市民生活を潤いのあるものにします。子どもは家庭の中で生まれ、学校で学ぶとともに地域によって育てられます。その学校は地域の学びの拠点であり、また地域によって支えられています。学校や地域と連携し、郷土を学び、知る学習機会を提供するとともに、家庭教育や地域の学習活動を支援します。

平成 29 年度事業

市民講座事業（中公）・地区公民館社会教育事業（地区公）・学区まなびい講座支援事業（中公）・弘前大学との地域づくり連携事業（中公）・プラネタリウム事業（中公）・青年の学習活動活性化事業（中公）・成人教育事業（中公）・やすらぎ館セミナー相馬熱（ココジョク）（中公相）・福寿大学（中公相）・万年青大学（中公岩）・ふるさと青少年教育事業（中公岩）・子育てサロン「岩木びよびよひろば」（中公岩）・家庭教育ミニセミナー（中公岩）・成人式事業（生学）・紙漉き体験事業（中公相）・各種講習会（図書館）（図書館等）

施策 2 市民の自主的な学習活動の支援と協働によるコミュニティづくり

東日本大震災以来、地域に根ざした「絆」や「協働」への国民的な意識が高まり、学びを社会貢献として地域へ還元したいというニーズが高まっています。市民の社会参加・ボランティア活動と、こうした活動を支える学習機会・学習情報を充実させ、学習を支援します。

平成 29 年度事業

キッズネットクラス運営支援（中公）・ピュアフレンズ支援事業（中公）・文化センターフェスティバル支援事業（中公）・公民館まつり（地区公）・公民館クラブ活動支援（地区公）・相馬地区文化祭（中公相）・文化グループの支援・育成事業（中公）・岩木地区レクリエーション大会補助金（中公岩）・ねっとワーク・岩木関連事業（中公岩）・花いっぱい運動（中公岩）・ボランティア活動支援・協働事業（図書館等）

2 平成 29 年度社会教育関係主要事業

2-1 生涯学習課

生涯学習社会の実現をめざし、社会教育行政の事務機関として、実施機関と連携を緊密にし、社会教育振興のための諸条件を計画的に整備することにより、生涯学習の推進を図る。

主要事業

事業名	内容
研修事業	公民館等の社会教育関係職員や社会教育委員の資質向上及び社会教育における多様な課題を共有し、ニーズに適切に対応していくため各種研修事業を実施する 主催事業：公民館等新任職員研修会、公民館関係職員研修会、社会教育関係職員合同会議の開催 派遣研修：県社会教育センターや中南教育事務所等が開催する研修会に派遣
児童劇観劇教室	市内の小学生に本格的な児童劇を鑑賞する機会を提供し児童の豊かな情操を育む。 今年度は小学3・4年生を対象に「シンドバットの冒険」を鑑賞する (11月29日～12月1日 3日間 6ステージ/岩木文化センター)
放課後子ども教室事業	次世代の人材育成を図るため、放課後や週末に学校の余裕教室等を活用して、子ども達の安全・安心な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、子ども達に学習や体験・交流活動等の機会を提供する (平成29年5月～平成30年2月開設予定/市内13箇所で開催予定)
社会教育関係団体等への助成	連合婦人会事業費補助、連合父母と教師の会事業費補助、弘前地区小学校文化連盟事業費補助、弘前市中学校文化連盟事業費補助、小・中学校文化連盟派遣補助など
アーティスト体験ワークショップ	文化芸術団体の活動の紹介・披露を含むワークショップを開催し、一流に触れることで、子どもたちに文化芸術への関心・興味を持たせる
演劇ワークショップ事業	プロの劇団員による演技指導を受けることにより、演劇部員の技術向上を図る
少年団体の活動助成等	ガールスカウトの事業費補助、相馬子ども会事業費補助、子どもの祭典共催負担
成人式	新成人を祝福するとともに、成人としての自覚と社会人としての意識の高揚を図るために開催する (平成30年1月予定/市民会館)
社会教育施設管理	市民の生涯学習の拠点として快適に利用できるよう、総合学習センター及び農村環境改善センターの管理運営を行う なお、平成23年4月1日から総合学習センターは指定管理者制度を導入し、施設運営の効率化を図っている

【 図書館・郷土文学館運営推進室 】

事業名	内容
図書館・郷土文学館施設管理	市民の生涯学習の拠点として快適に利用できるよう、図書館・郷土文学館の管理運営を行う なお、平成29年4月1日から図書館・郷土文学館は指定管理者制度を導入し、施設運営の効率化を図っている
古文書デジタル化推進事業	デジタル化したデータをインターネット等により公開することで、郷土について深く知る機会を充実させる (通年)

2-2 公民館

市立公民館の基本方針

社会の変化に伴って、市民のライフスタイルも多様化し、人生を豊かにするための学習機会や社会活動への参加に対するニーズはこれまでも増して高まっている。また、東日本大震災を契機に、地域との関係性に注目した絆や協働への意識が高まり、市民は自らの学びを社会貢献として地域社会に還元する生涯学習社会の実現にも強い関心を寄せている。一方で、社会全体では人と人との関係性が薄れ、子どもたちを家庭や地域で守り育てる社会の教育力が弱まっているとの危機感がある。地域住民が集い、学び、つながり合う場としての社会教育施設の多くは災害に対する機能を新たに期待されながらも老朽化が進んでおり、計画的な整備が求められている。

社会教育は「子どもたちの笑顔あふれるまち 弘前」を実現するさまざまな戦略を根付かせるための土づくりであり、このための人づくり、地域づくりを進めるため、市立公民館の基本方針を次のように定める。

- (1) 教育自立圏の構築に向けて、学校・家庭・地域が連携・協働した取組を行うとともに、子どもたちを守り育てるための環境づくりを進め、子どもたちに多様な体験の場や学習活動の機会を提供する。
- (2) 市民が生涯にわたって学び、自らの人生を豊かにし、その成果を社会に還元できるように多様な学習機会を創出し、充実した学習情報を提供する。
- (3) 市民の自主的な学習活動を支援し、協働によるコミュニティづくりを推進する。
- (4) 公民館施設の計画的な整備に努め、効果的に管理運営する。

2-2 (1) 中央公民館

運営方針

- 岩木館、相馬館、地区公民館及び学区まなびい講座との連携・調整を図りながら事業を進める。
- 小・中学校や高校・大学、関係機関・団体との連携協力を図りながら事業を進める。

主要事業

事業名	内容
弘前市・太田市青少年交流事業	地域や年齢の違う仲間とともに、受入交流ではお友達をもてなす様々な体験・交流活動などの企画・運営を、訪問交流では太田市の地域性や歴史・文化に触れ、地域の違いや風土を体感し見識を広める活動などをおとして、仲間と達成感や有用感を共有し、リーダーとしての素養などを育む
弘前市子どもの祭典実行委員会支援事業	公募した市内の中・高校生が主体となって、11月3日(文化の日)に開催する『弘前市子どもの祭典』に、アイデアや想いを形にした企画やその運営をおとして、仲間との連帯感や達成感、有用感などを共有できる取り組みを支援する
学区まなびい講座支援事業	市街地の小学校区で、地域が主体的となって講座の企画や実践に取り組み、参加者とともに学び合い、よりよい地域づくりと人づくりを目指す社会活動の取り組みの振興を図る
子どもクラブ事業	地域の講師によるモノづくり、歴史や文化、スポーツ、情報通信など、様々な体験活動を通して、社会性や達成感、自己肯定感などを育む
弘前大学との地域づくり連携事業	知の拠点としての弘前大学と地域の活動の拠点としての公民館が協力しながら、地域の様々な課題を解決しようとするプロセスの中で、地域と大学による人づくり・地域づくりを進める
プラネタリウム事業	リラックスした空間で天候に左右されない天体現象を、音響や映像を交えて分かりやすく解説すること、音楽鑑賞やリラックスなどに特化した講座を実施することによって、市民の科学への興味や知識を更に深める。また、ロマントピア天文台と連携した講座などを実施することによって、津軽地域で唯一疑似体験と実体験ができる施設として、他の市町村へも周知を強化し、施設の利用促進を図る

2-2 (2) 中央公民館岩木館

運営方針

- 中央公民館、相馬館、岩木地区町会公民館等との連携・調整を図りながら事業を進める。
- 岩木館の計画的な改修整備を進めるとともに、多様な学習機会の提供と学習成果を生かせるような環境づくりを通して、地区内小・中学校や関係団体等との連携協力により地域コミュニティの推進に努める。

主要事業

事業名	内容
花いっぱい運動	町会毎に花植えをすることで、奉仕する心や地域の連携協力、環境美化の推進を図る
伝統文化学習講座	学校の総合学習の時間等を利用して、多くの児童生徒が地元の伝統文化に触れることで、地元の良さを認識してもらおうとともに、津軽文化の継承に役立てる
ふるさと青少年教育事業	自然体験や社会活動等様々な学校外活動を実施することで、子どもたちの生きる力を育む
ねっとワーク・いわき関連事業	公民館活動の活性化を図るため、関係団体と会議を開催し、情報紙の発行や連携事業を実施する
子育てサロン「岩木びよびよひろば」	乳幼児とその保護者を対象に、親子の健康や育児に関する情報交流の機会と場を提供する
おもと万年青大学	健康保持と教養を高めることで生きがいのある充実した生活を過ごしてもらおう (60歳以上の地区住民対象)

2-2 (3) 中央公民館相馬館

運営方針

- 中央公民館、岩木館、相馬地区町会及び相馬地区町会の自治公民館との連携・調整を図りながら事業を進める。
- 相馬小・中学校、相馬地区関係団体と連携協力しながら事業を進める。

主要事業

事業名	内容
やすらぎ館セミナー相馬 熟 <small>こころしほく</small>	相馬地区の住民を対象に各年代や領域に応じた生涯学習講座を概ね月1回開催する
福寿大学	高齢者に対し学習機会を提供し、積極的に生きがいを持ち充実したゆとりある生活を送ってもらうため講座や移動学習等を開催する
紙漉き体験事業	紙漉き地区に言い伝えが残る紙漉き体験を通じて、和紙づくりの楽しさと郷土の歴史を学ぶ。対象は市民とし、年3日間開催する
相馬地区文化祭	伝統芸能や文化に親しみながら参加体験を通じて、地域の連携と活性化を図る。舞台発表は相馬小学校の学習発表会と合同で実施し、11月下旬2日間開催する

【相馬ライブラリー】

事業名	内容
おはなしの宝さがし	読み聞かせや紙芝居等を通じて、読書への導入を図る (通年)

2-2 (4) 地区公民館

主要事業

- ア 子どもたちが色々なことを体験し、学びながら人とのコミュニケーション力を高めるために少年教育事業を実施する。
地区子ども会リーダー研修会、子ども講座・子どもクラブなど。
- イ 青年たちが生活に生かせる知識や技術の習得を通して仲間づくりのきっかけを得るために青年教育事業を実施する。
青年教室、青年講座など。
- ウ 女性たちが生活や家庭、一般教養に関する知識や技術の習得を通して地域活動の仲間づくりにつながるように女性教育事業を実施する。
女性教室、女性講座など。

- エ 子どもを持つ親や高齢者など、幅広い成人たちがそれぞれ意識する課題について学び、生活に役立てることができるように成人教育事業を実施する。
 家庭教育学級、成人教室、高齢者教室、市民講座など。
- オ 地域の団体が連携し、文化の振興や地域づくりなどを図るために、そのほかの事業を実施する。
 文化祭・公民館まつり、弘前大学との地域づくり連携事業など。

2-3 博物館

過去と現在との尽きることのない対話の場として、さらには未来を志向し夢をくり広げる対話の場として、歴史・芸術に関する資料を広く一般に供し、地域文化の向上を図る社会教育施設として一層の充実に努める。

平成25年に建築意匠を保全しながら大規模な改修工事を行い、平成26年4月にリニューアルオープンを迎えた。

(1) 常設展

平成28年4月より、考古資料や民俗資料も加えた、子供たちにも分かりやすい内容にリニューアルし、原始から現代までの弘前の歴史と文化を幅広く紹介する。

(2) 企画展

津軽地方に残された貴重な資料を紹介するとともに、津軽の芸術文化の紹介、並びに郷土作家(先人及び現在活躍中)の作品を展示し、郷土を理解するよう企画する。

(3) 特別企画展

地域文化の向上を図るため、優れた歴史・美術工芸作品を展覧し、芸術鑑賞の機会の充実に努める。

(4) 多言語リーフレット配布

外国人観光客の増加に対応するため、常設展の多言語リーフレット(英語、中国語(繁体字・簡体字)、韓国語)を配布して、弘前の歴史と文化を伝える。

主要事業

事業名	内容
企画展1 輝け!! 館蔵名品 BEST40 -併設 写真展 懐かしの観桜会・ さくらまつり-	開館40年の節目の年であることを記念し、選りすぐりの館蔵名品40点を紹介 同時に、第1回目の開催から100年目となる弘前さくら祭りの一世紀を振り返る企画 として、市民から募集した写真などを展示 (4月1日(土)～6月4日(日) 63日間)
特別企画展1 ～明治、写実に出会う～ 日本近代洋画の誕生 -山岡コレクションを中心に-	初期洋画の宝庫として知られる「山岡コレクション」を中心に、高橋由一、黒田清輝、 青木繁、藤島武二ら、日本の近代洋画を築いた画家たちの作品を紹介 (6月17日(土)～7月17日(月) 31日間)
特別企画展2 画家 安野光雅展 「ふしぎなえ」から「旅の絵本」	代表作である「ふしぎなえ」など、その幅広い学識と豊かな表現力で生み出された作品 が世界各国で高い人気を誇る画家・安野光雅の画業50年の軌跡を紹介 (7月23日(日)～9月3日(日) 43日間)
企画展2 花物語 ～暮らしをよそおう～	花をキーワードにまちづくり、ひとづくりを進める市政を後押しするため、花を題材に した絵画、工芸などを通し、人々がどのように花で暮らしを彩ってきたかを紹介 (9月16日(土)～11月22日(日) 56日間)
企画展3 津軽歴史文化資料展示施設プレオー プン企画 弘前藩の美術 -お抱え絵師の残した仕事-	平成30年春にオープン予定の津軽歴史文化資料展示施設のプレオープン企画として、 お抱え絵師の作品などを中心に収蔵品を紹介 (11月25日(土)～1月21日(日) 56日間)
企画展4 おひめさまとおひなさま ～華麗なままごと遊び～	津軽家旧蔵の雛道具を中心に、姫君の暮らしを紹介 (2月3日(土)～3月25日(日) 49日間)

※特別企画展以外は常設展を併設。

2-4 図書館（指定管理）

弘前図書館、岩木図書館、相馬ライブラリー、こども絵本の森は生涯学習を推進する施設として、市民の多様化、高度化する要求にも対応できる資料の収集と提供に努め、市民の身近な図書館を目指す。そのため、各種講座や各種事業による学習機会を提供し、生涯学習の支援に努める。また、特定のジャンルに偏ることなく、広く資料を収集するとともに、時代に即した資料、地元産業に関わる資料、市民の要望に配慮した資料の収集に努める。なお、弘前図書館では、貴重な古文書等の資料の整備保存に努め、全国レベルの調査研究に対応できる図書館を目指す。

また、こども絵本の森では、乳幼児のための絵本を備えるとともに、保護者向けの関連図書資料も用意し、子育て環境を支援する。

平成29年4月より、指定管理者による運営を始め、市民サービスの更なる向上を図っている。

指定事業

【弘前図書館】

事業名	内容
おたのしみおはなし会	語り聞かせや紙芝居等を通じて、読書への導入を図る（毎月第1～第4土曜日）
夏休みおはなし会	小学生を対象に、夏・冬にちなんだ物語を題材に、読み聞かせや紙芝居等を通じて、読書普及を図る 夏休みおはなし会（7月）、クリスマスおはなし会（12月）
クリスマスおはなし会	
小学生に贈るおはなし	小学生を対象に、ストーリーテリング等を通じて、読書普及を図る（11月）
図書館職員になってみ隊	小学生が図書館職員の仕事を体験学習（7月、8月）
おはなしと読み聞かせ講習会	一般市民を対象に、読み聞かせの技術講習会実施（10月）
手作り絵本講習会	手作り絵本の技術講習会実施（5月）
古文書読み方講習会	藩庁日記等をテキストに、古文書初級（10月）と中級（3月）の読み方講習会実施
館報「はと笛」発行	巻頭随想、新着本の紹介、図書館行事等のPRする（年4回）
「FMアップルウェブ」広報	新着本の紹介、図書館行事等の広報をする（毎月第1・第3木曜日）
図書館ミニ展示	テーマを設定して図書資料を紹介、展示する（年10回）
第48回小・中学生読書感想文コンクール	読書に対する関心と文章力の向上を図るため、感想文を募集する。入選作品は、文集「はと笛」として発行する（7月～11月）
相互貸借	利用者の希望に応じ、他の図書館と図書を貸し借りする（通年）
図書郵送サービス	在宅の障がい者を対象に、図書を郵送貸出しする（通年）
対面朗読サービス	点字読書室でボランティアによる視力障がい者への図書の朗読（通年）
古文書の補修・複写事業	古文書を補修、複写、製本し、利用に供する（通年）
リサイクル図書事業	移動図書館車用の図書で除籍したものを、地区公民館、読書団体、小・中学校に譲渡する（年1回）
古雑誌の無料配布	除籍した雑誌約1,000冊を希望者に無料配布する（年1回）
学校図書館訪問事業	小・中学校の図書館の現状を把握し助言等を行う（通年）
ブックスタート事業	乳幼児期から読書に親しめる環境をつくるため、0歳児の保護者に絵本等を配布する（通年）

【岩木図書館】

事業名	内容
メメモエさんおはなし会	読み聞かせや紙芝居・手遊びなどを通じて、読書への導入を図る（毎週土曜日）
こどもの読書週間	「日本絵本賞読者賞候補作」と「MOE 絵本屋さん大賞」の絵本の展示と貸出 読み聞かせ、パネルシアター（4月～5月）
読書週間	児童室：大型絵本の展示と貸出 一般室：図書館おすすめ文庫の展示と貸出（10月～11月）
図書館まつり	児童室：親子手作り絵本（講師：ささやすゆき） 絵本の読み聞かせ、エプロンシアター、パネルシアター、津軽むがしっこ（11月）

事業名	内容
おはなしクリスマス会	クリスマスのおはなし・工作教室（手作りクリスマスカード）等を通じて、読書普及を図る (12月)
読み聞かせボランティア講習会	読み聞かせの輪を広げ、読み聞かせのネットワークやレベルアップを図り、活動の基盤充実を図るため講習会を開催する (11月)
相互貸借	他の図書館と図書の新し借りをする (通年)

【こども絵本の森】

事業名	内容
ブックスタート事業	乳幼児期から読書に親しめる環境をつくるため、0歳児の保護者に絵本を配布する (通年)
ブックスタートおはなしかい	ブックスタートでプレゼントする絵本の楽しみ方などをアドバイスし、読み聞かせへの関心を高める (毎月第3日曜日とその次の週の水曜日)
えほんのもりのおはなしかい	絵本の読み聞かせなどで読書への導入を図る (毎月第1日曜日とその次の週の水曜日)

2-5 郷土文学館（指定管理）

郷土出身の作家や郷土にゆかりのある作家に関する資料を広く公開展示し、市民の文学に対する関心と理解を高めるとともに、地域文化の発展をめざす社会教育施設として一層の充実に努める。

平成29年4月より、指定管理者による運営を始め、市民サービスの更なる向上を図っている。

(1) 常設展

郷土出身作家10人の文学資料の展示を中心に、さらに資料の充実を図りながら、より理解が深まる展示に努める。

(2) 企画展

テーマを設定し、作家の業績を様々な角度から展示紹介する企画展と、これを記念する行事としての講演会などを開催し、郷土ゆかりの文学者の業績と人間像に触れる機会を広く提供する。

(3) スポット企画展

常設展や企画展で展示できない資料や新たに収集した資料を折々の話題に即して展示し、収集資料を広く公開する。

(4) 北の文脈文学講座

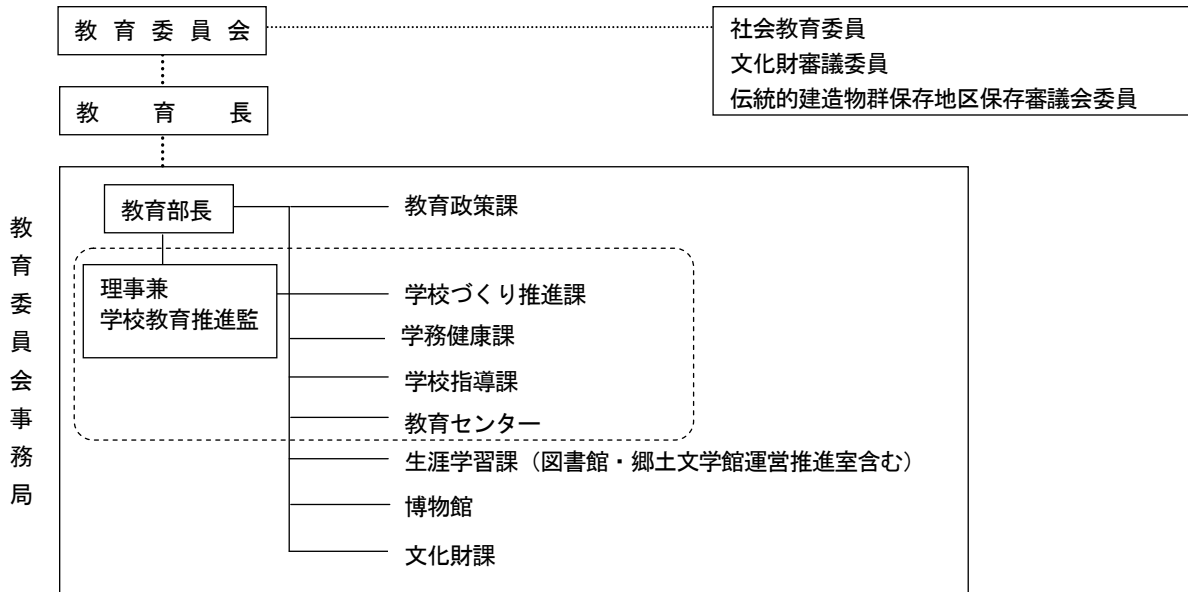
企画展等の展示資料をもとに、朗読や解説を加えながら鑑賞する文学講座を開催し、郷土作家の人と作品について理解を深めてもらう。

指定事業

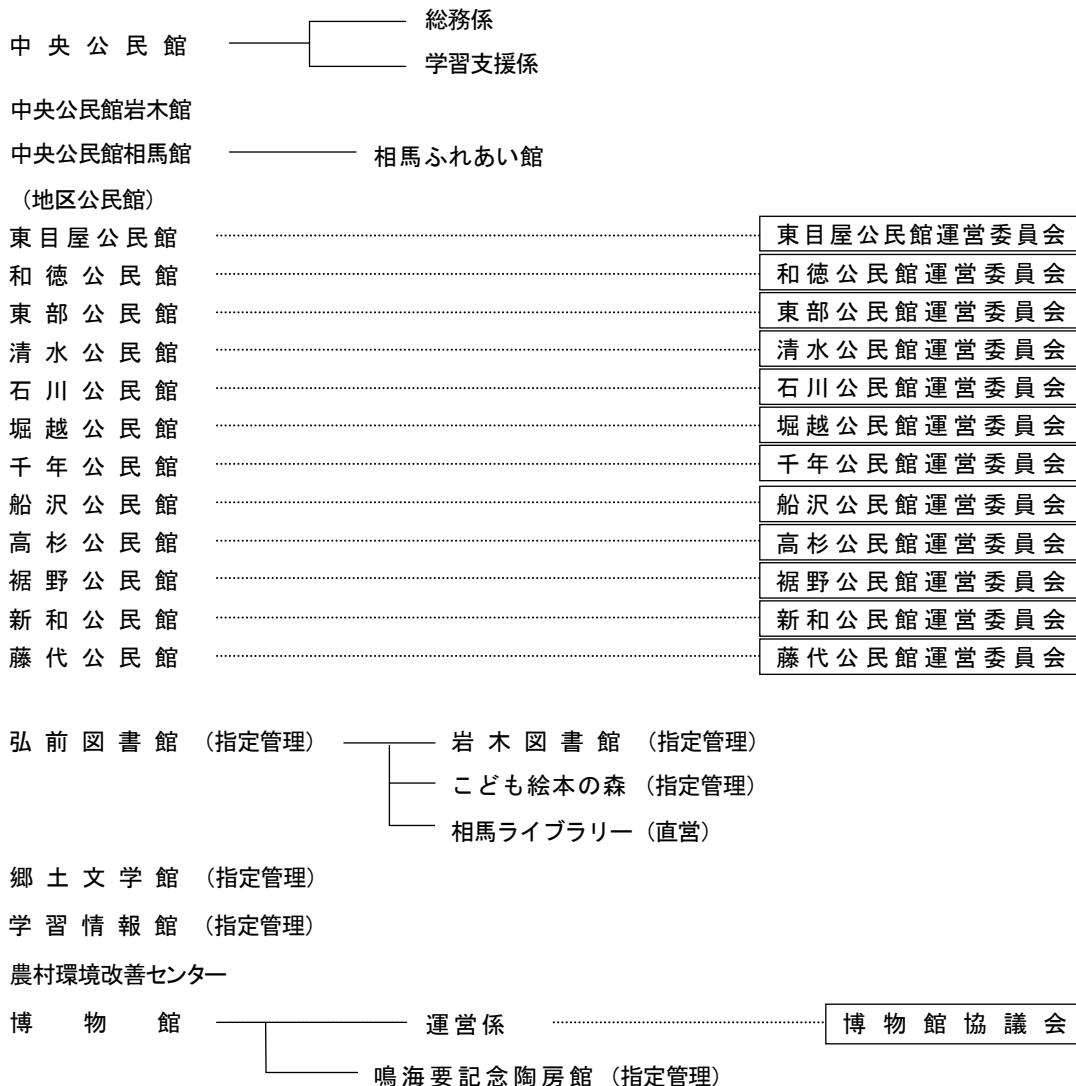
事業名	内容
企画展	第41回企画展 石坂洋次郎展 戦後の暗い時代に『青い山脈』などの作品で爽やかな新風を送り、〈百万人の作家〉と呼ばれた作家・石坂洋次郎を紹介 (平成29年1月12日～12月28日)
	第42回企画展 加藤謙一展 郷土出身の編集者、少年文化の旗手、名伯楽としての存在をしっかりと紹介。 (平成30年1月12日～12月28日)
企画展 スポット	「生誕130年葛西善蔵―石坂洋次郎が魅せられた作家」 葛西善蔵の生誕130年という節目にあたり、石坂洋次郎との交流を中心に作家・葛西善蔵を紹介。 (平成29年4月20日～6月30日)
	石坂洋次郎―エッセイに見る素顔 石坂洋次郎のエッセイを通して、石坂の日常生活・当時の世相・文学観などを紹介。 (平成29年7月1日～8月31日)
	没後30年高木恭造―方言詩と石坂洋次郎 方言詩人・高木恭造の没後30年にあたり、石坂洋次郎と高木恭造の方言詩を通じた親交を紹介。 (平成29年9月1日～11月30日)
北の文脈文学講座	各企画展で展示している作品や資料を対象として、朗読や解説を加えながら鑑賞する文学講座（8回記念講演含）

3 社会教育行政機構

(平成29年4月1日現在)



社会教育関係機関（施設）



4 社会教育関係施設等

4-1 社会教育施設

(平成29年4月現在)

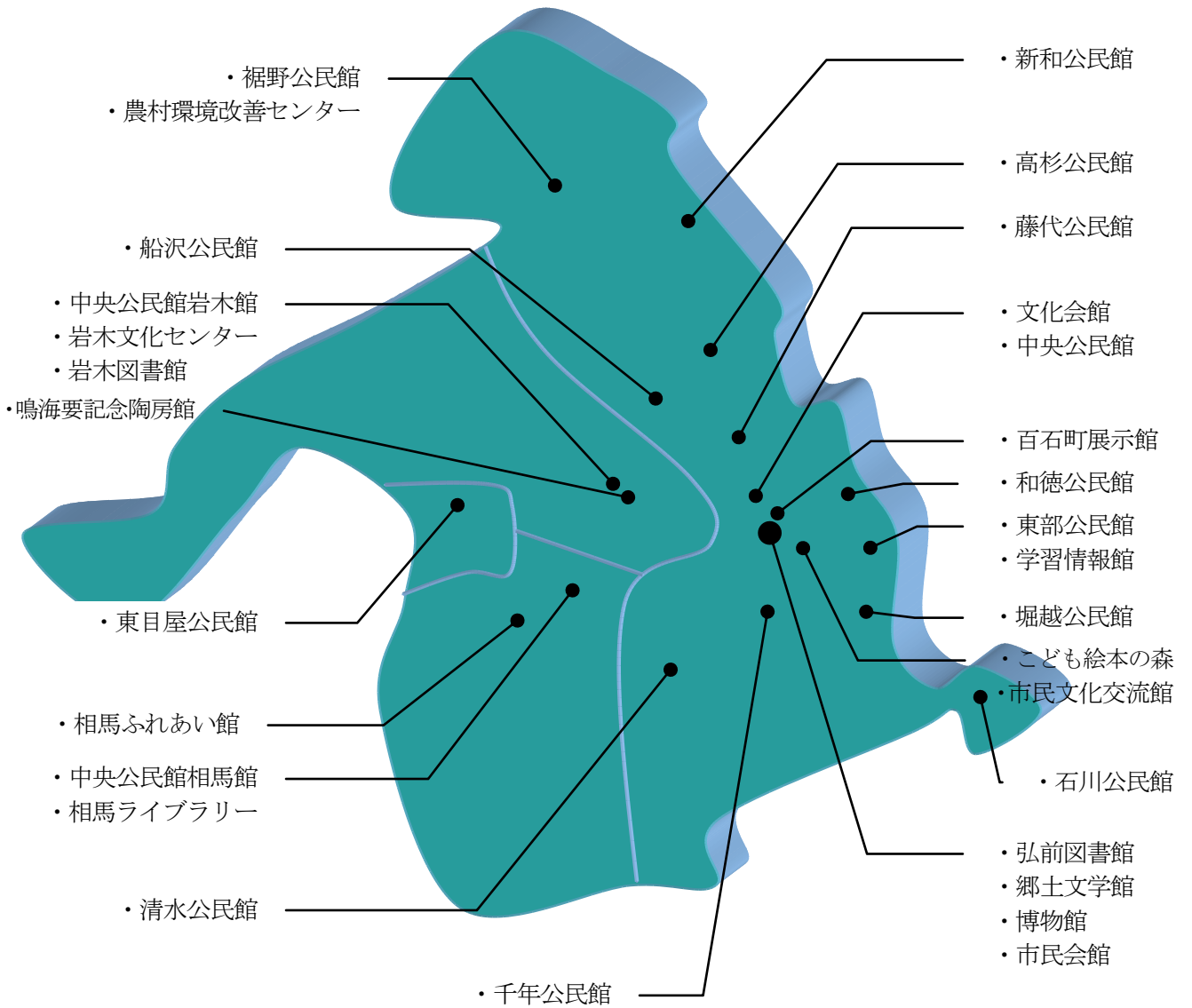
名称	電話	独立 (併置)	所在地	面積 m ²		落成 年月	構造	部屋
				建物	敷地			
中央公民館	33-6561 33-6562 33-6563 Fax33-4490	(文化会館)	〒036-8356 下白銀町19-4	3,608.00	11,512.88	昭和 56・9	鉄筋コンクリート 地下1階 地上3階	大会議室、中会議室 第1～3会議室 第1～3和室 プラネタリウム 視聴覚室 科学実習室 工作実習室 調理実習室
中央公民館 岩木館	82-3214 Fax82-3426	(岩木文化センター・岩木図書館)	〒036-1313 賀田一丁目18-3	2,440	5,233.7	昭和 56・11	鉄筋コンクリート 地上2階	ホール 和室2 研修室2 展示室 会議室 視聴覚室 創作室 音楽室 調理実習室 茶室
中央公民館 相馬館	84-2316 Fax84-2328	(相馬ライブラリー・御所温泉・相馬総合文庫)	〒036-1592 五所字野沢41-1 弘前市相馬庁舎内	491.97	9,476.49	平成 25・3	鉄骨 平屋	和室 調理実習室 研修室3
				(長慶閣) 935.4	3,467.47	(平成 26・3 改修)		長慶閣集会室 控室2
東目屋公民館	86-2112	(東目屋出張所)	〒036-1451 中野字中豊田20	2,134.00	9,395.33	平成 11・4	鉄筋コンクリート 1階	事務室 調理室 和室 研修室 体育・集会室 談話室 資料室 図書室 会議室
和徳公民館	36-4747	独立	〒036-8071 大久保字沼田 204-3	313.20	1,134.26	昭和 49・10	木造 モルタル平屋	事務室 講堂 会議室 和室 図書室 調理室
東部公民館	27-5800	(学習情報館・教育センター)	〒036-8085 末広4-10-1	1,453.36	6,473.67	平成 7・10	鉄筋コンクリート 地上4階 塔屋1階	事務室 調理室 集会室 会議室2 茶室 多目的ホール 地域交流室
清水公民館	88-2110	独立	〒036-8243 小沢字御笠見 46-10	525.91	1,761.94	昭和 59・3	木造 一部鉄骨平屋	事務室 研修室 集会室 図書室 和室2 調理室
石川公民館	92-3405	(石川出張所)	〒036-8124 石川字石川114-1	865.37	2,224.00	昭和 54・3	鉄骨 2階	事務室 図書室 会議室2 調理室 大研修室 和室2
堀越公民館	27-2635	独立	〒036-8111 門外2-3-11	525.91	1,336.42	昭和 58・2	木造 一部鉄骨平屋	事務室 集会室 研修室 図書室 和室2 調理室
千年公民館	87-2130	独立	〒036-8127 小栗山字川合 115-1	604.07	2,588.60	昭和 62・12	木造 一部鉄骨平屋	事務室 和室2 集会室 調理室 研修室 図書室
船沢公民館	96-2323	(船沢出張所)	〒036-8383 折笠字宮川95-5	765.96	2,886.66	平成 2・3	木造 一部鉄骨平屋	事務室 研修室2 会議室2 和室 図書室 調理室
高杉公民館	95-2336	(高杉出張所)	〒036-8381 独狐字山辺72-1 北辰学区高杉ふれあい センター内	1,559.53	12,857.00	平成 19・11	鉄骨 平屋	事務室 体育室 研修室2 和室2 世代交流室2 調理実習室 図書室
裾野公民館	93-2810	(裾野出張所)	〒036-1203 大森字勝山81-1 農村環境改善セン ター内	1,077.09	4,175.60	昭和 53・9	鉄筋コンクリート 2階	事務室 ホール 研修室 図書室 会議室 和室2 保健室
新和公民館	72-1517	(新和出張所)	〒038-3614 種市字熊谷5-1	497.27	1,133.48	昭和 52・11	木造 モルタル平屋	事務室 講堂 研修室 調理室 図書室 和室
藤代公民館	32-1977	独立	〒036-8318 八代町2-10	389.11	1,041.52	昭和 50・10	木造 モルタル平屋	事務室 講堂 会議室 和室 図書室 調理室

名称	電話	独立 (併置)	所在地	面積 m ²		落成 年月	構造	部屋
				建物	敷地			
弘前図書館	32-3794 Fax36-8360	(郷土文学館)	〒036-8356 下白銀町2-1	4,922.7	—	平成 2・3	鉄筋コンクリート 地下2階 地上3階	貸出閲覧室 調査室 読書学習室2 点字読書室 視聴覚室 書庫
こども絵本の森	35-0155	(ヒロロ スクエア)	〒036-8003 駅前町9-20	264.2 (こども 絵本の森 部分)	—	平成 25・7	鉄筋コンクリート地 地下1階 地上6階	貸出閲覧室 書庫・事務室
岩木図書館	82-1651 Fax82-5150	(中央公民館 岩木館・岩木 文化センター)	〒036-1313 賀田一丁目18-3	399	5,233.7	昭和 56・11	鉄筋コンクリート 地上2階	児童室 閲覧室 学習室 書庫
相馬 ライブラリー	84-2316 Fax84-2328	(中央公民館 相馬館・御所 温泉・相馬総 合支所)	〒036-1592 五所字野沢41-1	135.81	9,476.49	平成 25・3	鉄骨 平屋	閲覧室 児童室
郷土文学館	37-5505 Fax36-8360	(図書館)	〒036-8356 下白銀町2-1	594.2	—	平成 2・3	鉄筋コンクリート 地下2階 地上2階	常設展示コーナー 方言詩コーナー 企画展示コーナー 石坂洋次郎記念室
博物館	35-0700 Fax35-0707	独立	〒036-8356 下白銀町1-6	2,279.59	4,879.38	昭和 51・8 (平成 25・12 改修)	鉄筋コンクリート 地下1階 地上一部2階	展示室4 展示ホール
鳴海要記念陶房館	82-2902	独立	〒036-1313 賀田字大浦1-2	274.8	956.9	平成 15・3	鉄筋コンクリート・ 木造 平屋	展示室 窯場 ホール 陶房
学習情報館	26-4800 Fax26-2250	(東部公民館 ・教育センタ ー)	〒036-8085 末広4-10-1	3,075.9	6,473.67	平成 7・7	鉄筋コンクリート 地上4階 塔屋1階	会議室 セミナー室 視聴覚室 工芸室 コンピュータ研修室
農村環境 改善センター	93-2111 93-2112 (裾野出張所兼用)	(裾野公民館)	〒036-1203 大森字勝山81-1	1,077	4,175.60	昭和 53・9	鉄筋コンクリート 2階	(裾野公民館同)
相馬ふれあい館	84-3475	独立	〒036-1515 相馬字八反田25	467.62	6,567.34	昭和52 (平成 27・3 改修)	鉄筋コンクリート 一部木造平屋 建	多目的ホール 和室2 調理室 運動広場
少年野外 研修場 (H22～休止中)	—	独立	〒036-1343 百沢字東岩木山 3067	113.67	40,622.53	昭和 52・4	木造	避難棟 炊事場 トイレ

4-2 文化施設 (所管：市民文化スポーツ部 文化スポーツ振興課)

名称	電話	独立 (併置)	所在地	面積 m ²		落成 年月	構造	部屋
				建物	敷地			
弘前文化会館	33-6571 33-6572 Fax33-6570	(中央公民館)	〒036-8356 下白銀町19-4	2,908.6	11,512.88	昭和 56・9	鉄筋コンクリート 地下1階 地上1階	ホール 楽屋2 練習室3 会議室 美術展示室
岩木文化センター	82-3214	(中央公民館 岩木館・岩木 図書館)	〒036-1313 賀田一丁目18-4	2,766.9	3,410.6	平成 13・2	鉄筋コンクリート 地上2階	ホール 楽屋4 パントリー ミニシアター
市民会館	32-3374 32-3375 Fax32-3381	独立	〒036-8356 下白銀町1-6	5,598.6	—	昭和 39・5 (平成 25・12 改修)	鉄筋コンクリート 地下1階 地上3階	ホール1,343席 会議室4 和室1 楽屋6
市民文化交流館	35-0154 Fax31-0261	(ヒロロ スクエア)	〒036-8003 駅前町9-20	958.6	—	平成 25・7	鉄筋コンクリート地 地下1階 地上6階	ホール 多世代交流室6 イベントスペース
百石町展示館	31-7600 Fax31-7623	独立	〒036-8035 百石町3-2	779	2,171.4	平成 16・4	木造 一部鉄筋 コンクリート 2階	展示室3 情報コーナー 喫茶コーナー

弘前市の社会教育関係施設配置図





発行／弘前市教育委員会
年月／平成 29 年 4 月